

条例第18条の2第2項に規定する自主規制団体からの聴き取り結果

(令和3年9月8日実施)

	図 書 名 等	聴 き 取 り 内 容
1	<p>DEAR+ COMICS おしかけアクマは逆らえない! 令和3年8月15日発行</p>	<p>ストーリーとしては許容範囲内と考えるが、陰部の消しが甘く股を大きく開く構図が見られる。指定該当。</p> <p>性器の修整が非常に甘く、形状も認識できるレベルであり、卑わい感を増している。指定該当やむなし。</p> <p>生活を共にしていく中で好きになっていく童顔の悪魔と人間の物語。性描写も多くななく童顔でコミカルなので人格否定・卑わい感もあまりない。しかし童顔の悪魔の開脚の描写が多く激しい。しかも、男性器が修整はされているが形状がはっきりとわかる。指定該当。</p> <p>主人公一人が悪魔という設定なので、年齢は不詳。でも見た目はやはり幼い感じに映る。性器は何本か線で消されてはいるが、描写がリアルなため卑わい感が逆に助長されている。あまり、強制的なシーンはなく、全体的にストーリー性はあるが、主人公2人のキャラ設定が成人向き。指定該当。</p> <p>絵柄はシンプルなため卑わい感はない。設定の面白さを活かそうとするため、どうしても性交場面が多くなっており、性器の描写が目立ってしまう。その性器の修整は甘い。付箋の数は4分の1程度であるが、性器の修整が甘い点が影響が大きい成人向き。指定該当。</p> <p>性器の消しが甘く、形状が分かるものが多い。また、アリバイ程度に消していると思われるものも散見される。悪魔と天使の相思相愛であって、ストーリーとしてもしっかり読める作品。それだけに性描写で消しが甘いのは残念。指定該当。</p> <p>随天使とインキュバスのほほえましい恋愛物語。楽しく読める作品だが性器の露出が激しい。刑法175条にも該当しかねないのではないかと。同様の外国の本やビデオは非常に厳格なゾーニングがなされている。指定該当。</p> <p>白い短冊で修整されているが、性器や結合部が見えている。それを強調する画面構成である。性交シーンが多い。人格否定な描写はないとはいえ、この修整の意思の無さで一般的というのは厳しい。指定該当。</p> <p>SF系BLコミック。画力もストーリーもしっかりしていて、飽きさせないし、恋愛・相思相愛漫画。だが、男性器やそれ以外の性器の消し方が数本の白線で表現されており、登場回数が青年レベルを超えている。指定やむなし。</p> <p>キャラ、ストーリーともしっかり描かれており、絵柄もかわいらしくすんなり読めた。修整が甘く、1ページに性器のアップが多い。一定の配慮は感じられたが、構図等に工夫の余地はあると考える。指定該当。</p> <p>絵はとてもキレイで表情など大変魅力がある。ストーリーも単純ではあるがしっかりしており、作品として高いレベルにある。人格否定的な要素もほぼみられない。しかし性器の消しが甘く形状、質感を明瞭に伝えるものとなっており、看過することは難しい。指定該当。</p> <p>ファンタジー設定でコミカルなストーリー展開、かつキャラクターがソフトな絵柄で描かれており、露骨さはない。一方、性交シーンでの性器描写の消しや修整は、一部、意図的に見せている様子が見てとれる。予断があるものもし性器描写が作品の大きな構成要素なのであれば、成人向けに販売されるのが適切と考える。指定該当。</p> <p>強制、暴力と受け取れる描写は少なく人格否定に該当する部分は無い印象だが、擬音、体液描写は多い。性器の修整については、描いた後に線を何本か上から入れただけで形状も細部に渡り読者に見える状態になっている。総合的に判断して保留。</p> <p>BLコミック。性器の消しが甘くエッチシーンが多いが、絵柄はコミカルであり、問題ないレベル。保留。</p>

条例第18条の2第2項に規定する自主規制団体からの聴き取り結果

(令和3年9月8日実施)

	図 書 名 等	聴 き 取 り 内 容
2	<p>KiR comics 視線部屋-メス堕ち短篇集-</p> <p>令和3年7月31日発行</p>	<p>器具を使用したり著しい人格否定などなくストーリーに問題を感じないが、擬音と体液描写が多く陰部も白抜きになってはいるが形状が分かる。指定該当。</p> <p>性器の修整が甘い部分が見受けられ、一部の場面で擬音、体液の描写が激しい部分が見受けられる。指定該当やむなし。</p> <p>短編なのでセックスまでの話が早い。絵が上手いのか性交時の顔の描写が卑わい感を増している。1話暴力的、強制的なセックスは反社会的な面がある。男性器が白抜きではあるが形状がはっきりわかり、さらに誇張されている。擬音、体液描写も激しい。指定該当。</p> <p>短編それぞれの設定の漫画らしさと画力、セリフ力が相まって読者に作家性を感じさせる。絵柄においても、微に入り細に入りサービス精神があふれており、性器の修整は白抜きが施されてはいるものの縁取され、体内図を加えることで質感も表現しており、体液描写も多い印象。指定該当。</p> <p>性器は白くしているものの、形状がはっきりと分かり、また強調して繰り返し描かれていて「消した」とはとても認められない。一部、拘束や盗撮といった青少年に誤った性行為を推奨しかねない描写もあった。結合部のアップが多く、開脚した描写も多い。卑わい感がある。指定該当。</p> <p>暴力的、人格否定的なシーンはない。非常に多岐にわたるジャンルを描ける実力者。短編集ゆえに卑わいなシーンが多くなっている。性器の形状がわかり、擬音、体液描写も多い。非常に迷うが、この作品を小・中学生が読んでいいとはどうしても思えない。指定該当。</p> <p>冒頭に拘束、強要の部分があり、性交シーンが多い。性器を修整する意図はあると思うが、形がわかり、強調していると読める。短編集であるがゆえに性描写が多くなるのはある程度やむを得ない。画力があるがゆえに性描写に迫力がある。指定該当。</p> <p>BL短編集。若干無理やりな描写もあるが、恋愛漫画の範疇。目立つのは男性器の消し方と見せ方。男性器を白くしているが、ハッキリと描き過ぎている。登場回数も青年レベルを超えている。指定やむなし。</p> <p>6作とも少ないページ数でよく練られたレベルの高いBL作品。画風に対して性器の白ヌキ修整が逆に目立っており、体液描写も多い。そこに加え、短編集という特性上、性交シーンが多い。指定該当。</p> <p>華麗な絵柄で、構図にも躍動感があり価値ある作品。卑わいというほどでもないレイプを肯定的に描き人格否定的な要素はあるが、分量としてはそれほど多くはないと感じられる。ただ、性器描写において、質感は白く抜いて配慮はあるものの外形を際立たせる表現の一部となっていて露骨である。難しい判断だが指定該当。</p> <p>擬音、体液の描写が多く、冒頭に拘束具も使用されている。性器は白く消されているものの結合部のアップがくり返されるなど卑わい感が強い。指定該当。</p> <p>短編集で、話によってタッチやキャラ設定も異なっている。それぞれ性交シーンが多く、性器は白抜きで消されてはいるものの形状はわかり、体液や擬音描写もやや多い。ただ、全体的にストーリー性もあまりないように感じられ、卑わいな印象も受けない。保留。</p> <p>擬音、体液描写はやや多い印象。性器は白抜きで形状がやや分かる箇所があるものの修整は確実に加えられている。人格否定にあたる箇所も特段なし。指定非該当。</p> <p>BLコミック短編の同人誌を集めて単行本化したもの。出版にあたり、性器を白ヌキにした配慮は感じられる。短編の同人誌を集めると一冊として、かなり多めのエッチシーンになるが、指定非該当。</p>